

流行ニュース：

< コレラ、南アフリカ >

2003年 5月 23日に、保健省は Mpumalanga地方でコレラ発生を報告した。4月 26日から 5月 18日まで、コレラの疑い例と確定症例の累積数は、3例の死亡（致死率 1.7%）を含む 174例であった。集団発生は、最も影響を受けている地域であるトンガと、スワジランドとモザンビークの国境 27 地域を含んでいる。

WHOの医官に合流した保健省のチームは、状況を評価し発生を抑える勧告をするために Mpumalangaに移動した。この地域は、今年コレラ発生を報告した Eastern Capeと KwaZulu-Natalに次ぐ第 3番目の地域である。2003年 1月 1日から 3月 28日まで、南アフリカでの報告されたコレラの累積報告症例数は、2,362人であった。

< SARS(症例と国における更新) >

6月 5日現在、累積合計で 772例の死亡を含む、可能性例 8,402例が、29ヶ国から報告された。

中国本土で報告された新たな SARS可能性例の日毎の報告数は、5月最初の週の平均 166人から、第 2週の 90人、第 3週の 27人、第 4週の 16人へと、ここ数週間でかなり減少した。過去 6日間に報告された新たな日毎の症例数は、平均 2.5人へ減少した。

しかし、最近の経験（例えばカナダのトロントでの症例の再流行）と SARSの反応についての多くの不確実性に照らして、WHOは中国で報告された新しい症例数の下方傾向を解釈する際の注意が必要であると見ている。

< AFPサーベイランス実施とポリオ発生率、2002 2003年 >

WHO地区	AFPサーベイランスの実施、2003年			ポリオ症例数	
	AFP報告症例数	15歳以下の10万人に 対する非ポリオ AFP率	適切な検体での AFP症例率	2003年確認症例数 (野生型ポリオウイルス)	2002年確認症例数 (野生型ポリオウイルス)
地区別合計					
アフリカ地区	1729	2.20	90%	34 (34)	214 (208)
アメリカ地区	496	0.88	81%	0 (0)	0 (0)
東地中海地区	1630	2.11	90%	24 (24)	110 (110)
ヨーロッパ地区	521	1.08	84%	0 (0)	0 (0)
東南アジア地区	3274	1.09	85%	77 (77)	1600 (1600)
西太平洋地区	1250	0.69	89%	0 (0)	0 (0)
合計	8900	1.28	87%	135 (135)	1924 (1918)

「2003年における AFP症例数の多い国」は、インド（2,336）、中国（893）、ナイジェリア（860）、パキスタン（716）の順である。「2003年に確認されたポリオ症例数」の多い国は、インド（77）、ナイジェリア（32）、パキスタン（23）である。（国別症例数の詳細は WER参照のこと）

（岸秀典、古川宏、法橋尚宏）